



独立行政法人 国立病院機構

村山医療センターニュース

2025年
85号

<TOPICS>

日本最小侵襲整形外科学会開催

<Information>

脊椎脊髄センター外来診療日拡大のお知らせ



理念

患者さんの視点に立ち、良質で高度な医療を提供します。

基本方針

患者さんの権利と意思を尊重します。安全で優しいチーム医療を提供します。倫理を重んじ高度で先進的な医療を提供します。
地域医療連携の促進を図ります。
骨・運動器疾患の臨床研究を推進します。
職員は研鑽に励み、健全な経営に努めます。

Contents

就任のご挨拶
新任医師の紹介
NEWS
Recruit

就任のご挨拶

事務部長
坂本 秀宣

(さかもとひでのぶ)

この度、4月1日付で事務部長を拝命しました坂本秀宣（さかもとひでのぶ）と申します。よろしくお願いいたします。

前任地は長野県上田市にあります信州上田医療センターから参りました。真田氏で有名な地域であり、大河ドラマなどでご存じの方もいらっしゃるかと思います。

当院には、20年ほど前に家族と住んでおりました。当時の宿舍も残っており、事務所の窓から周りを眺めながら懐かしさを感じています。一方で、私が住んでいた頃には、まだ古い病棟がありましたので、新病棟を見ますと「ずいぶん新しくきれいになったなあ」とも感じております。今後は、病棟以外の外来治療棟等の古い建物についても、建替整備を進めていけるよう計画を進めて参りたいと思っています。

さて、村山医療センターは、整形外科、リハビリ領域を主な診療とし、骨・運動器疾患及び脊髄損傷に関する高度な医療を提供しております。このような機能を生かしながら、患者様の診療がさらに充実できるよう、微力ではありますが尽力して参りたいと思っております。

地域の医療機関の皆様におかれましては、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



2025年4月から副人工関節センター長を拝命しました中村賢（なかむらさとし）と申します。

2014年から2年弱ほど当院で人工関節手術に従事し、医学博士取得のため大学院や大学病院勤務を経て、2023年から再び当院での下肢関節の治療を担当しております。

村山医療センターは脊椎領域の手術で知られていると思いますが、その傍ら人工関節の治療も積極的に行っており、8年前と比較して人工股関節置換術は102件から202件へ、人工膝関節置換術は80件から159件へと倍増しております。

かつて人工股関節置換術は当時主流であった後方侵入法で行っていましたが、近年はより術後回復が早く脱臼が少ない前側方侵入法を用いており、ナビゲーションシステムなど先進技術も取り入れるなど、より安全で長く使える人工関節手術を目指しております。

また、人工関節には適さない壮年期の患者さんに対しては関節鏡や骨切り術などの関節温存手術や、その前段階に相当する再生医療（AP S療法）にも取り組んでおります。

地域の皆様のお力になれますよう、一層の努力を重ねてまいります。下肢関節の痛みでお困りの方は、ぜひ一度ご相談いただけますと幸いです。

副人工関節センター長
中村 賢
(なかむらさとし)



新任医師の紹介



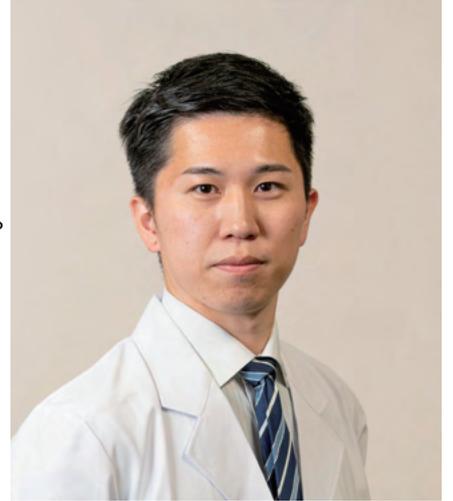
整形外科医師

榮本 忠隆（えいもと ただたか）

2025年4月より整形外科に赴任致しました榮本忠隆（えいもとただたか）と申します。

これまで慶應義塾大学病院、江戸川病院で勤務しておりました。日本でも有数の伝統ある村山医療センターで働けることを心より嬉しく思っております。また、桃やマスカットで有名な岡山県出身であり、自然豊かな環境が武蔵村山市と似ており懐かしさを感じております。

患者様の立場に立ち、少しでも良い医療を届けられるよう日々誠意をもって診療を行ってまいります。至らぬ点もあるとは存じますが、ご指導ご鞭撻の程、何卒宜しく申し上げます。



リハビリテーション科医長

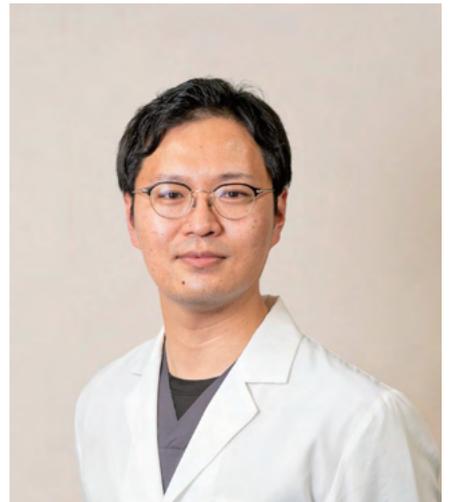
大嶋 理（おおしま おさむ）

2025年4月よりリハビリテーション科に着任いたしました大嶋理（おおしまおさむ）と申します。

村山医療センターでは後期研修医の立場で2年間研修させていただきました（2019-2020）が、このたび他院や大学病院での勤務を経て、指導医として戻って参りました。

医師として自分を成長させてくれた村山医療センター及び地域の皆様方に、恩返しができるよう日常の診療や若手医師の教育に励んでまいりたいと思います。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



リハビリテーション科医師

阿部 夢叶（あべ むきょう）

2025年4月よりリハビリテーション科に赴任しました阿部夢叶（あべむきょう）と申します。

これまで急性期病院においてリハビリテーション医療に携わってまいりました。

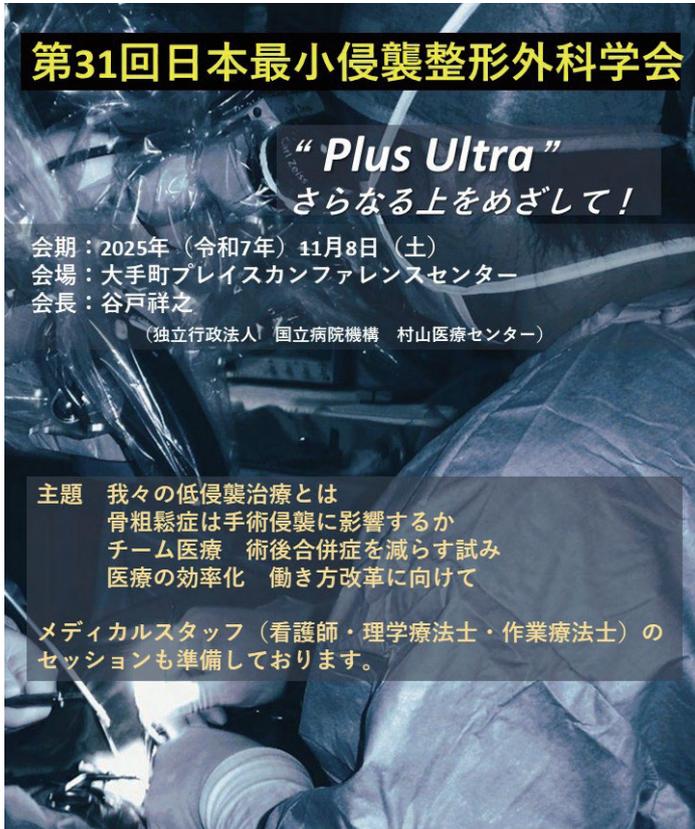
患者様一人ひとりの病状や社会的背景を考慮し最適なりハビリを提供できるよう努めてまいります。また、多職種と協力しながら、住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援していきたいと考えております。

リハビリテーションを通じて、患者様の「その人らしい生活」の実現を目指し誠意をもって診療に取り組んでまいります。

皆様のお役に立てるよう尽力して参る所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。



第31回日本最小侵襲整形外科 学会開催について



2025年11月8日に東京大手町で第31回日本最小侵襲整形外科学会を開催させていただくことになりました。伝統的な本学会を主催させていただくことに感謝をするとともに責任の重大さをひしひしと感じております。

さて本学会が始まった頃にはまだ最小侵襲をめざすといった概念そのものが少なく、多くの医療従事者にこの概念を定着させたことが本学会の最大の功績であると考えております。

内視鏡手術、経皮的スクリュー、筋肉を温存した椎弓形成、LIF、ナビゲーション手術等様々な術式が本学会で紹介され、今では常識となっている術式も数多くあります。

医師の技術力を向上させ、より低侵襲で安全な術式は本学会から発信されてきました。

第31回のテーマは・・・

では31回を迎え本学会のこれからの課題とはどのようなものになるのでしょうか。医療従事者のほぼすべては患者さんのためになる医療を心がけ、常に侵襲を少なくしようと努力しています。これからもそれぞれの工夫、試みをお互い共有し、よりよい医療を目指していくべきと考えております。

その中には医療従事者の負担を減らすことも含まれます。働き方改革も定着した今日、医療従事者の負担を軽減させなければ、より多くの患者さんに安全な医療を提供することは不可能になります。医療は常に進歩しており、限界はありません。まだまだ我々には考えるべきこと、検討すべきことがたくさんあるはずで、単なる過去の延長では未来はありません。

そこで本学会のテーマは“**Plus Ultra (プルスウルトラ)**”としました。プルスウルトラとは「もっと先へ」「遥かかなたへ」を意味し、スペイン国王カルロス1世のモットーが語源とされています。「限界を超えて進め」という意思を伝える言葉として様々なシーンで用いられてきました。

本学会の主題は次の四つとしました。

- 我々の低侵襲治療とは
- 骨粗鬆症は手術侵襲に影響するか
- チーム医療 術後合併症を減らす試み
- 医療の効率化 働き方改革に向けて

近年、関節の再生医療や脊髄刺激療法など様々な手術に至る前の治療法が新たに紹介されつつあります。これらもいわゆる低侵襲治療と考えることができます。これからの高齢化社会を迎え、骨粗鬆症の治療を併用することなくでは手術治療が困難な症例も増加しております。

また多職種での共同の治療により術後成績を改善する試み、合併症を減らすことも検討されております。

今回はセッションごとに座長による優秀賞を選定し、賞状と記念品を贈答させていただきます。本学会では医師のみならず、メディカルスタッフ（看護師、理学療法士、作業療法士）のセッションも設定させていただきました。

是非ともみなさんで一緒に参加していただけるとありがたいです。



院長 谷戸

【アクセス】

JR『東京』駅丸の内北口から徒歩7分、
東京メトロ・都営地下鉄『大手町』駅A5出口



詳細はこちらから



大会運営事務局

株式会社ドウ・コンベンション内

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-23 アクセス御茶ノ水ビル5F

TEL. 03-5289-7717



もっと知りたい

亜急性期脊髄損傷に対するiPS細胞由来神経前駆細胞を用いた再生医療について



2025年3月21日、第24回日本再生医療学会総会で慶應義塾大学と村山医療センターのiPS細胞を用いた脊髄損傷治療の臨床研究において、予定されていた全4症例の安全性が確認され、治療に有効性をもつ可能性が示唆されたことを発表しました。そのうち2症例については、運動機能の改善が見られ、iPS細胞を用いた脊髄損傷の治療で症状の改善が見られたのは世界初のケースです。

【日本再生医療学会記者発表】

治療困難と言われている脊髄損傷治療において、新たなステージへの第1歩を踏み出したと言えます。この研究成果は患者様やその家族、医療従事者にとって「一縷の望み」となる治療です。

今後の研究は、治療の実用化に向けた治験を実施するとともに、治療の内容を改良したり対象となる患者を広げたりして、効果の高い治療法の開発に取り組むことを目指しています。

今回の臨床研究では患者1人に投与する細胞の数を動物実験で安全性が確認された200万個としましたが、今後はさらに細胞の数を増やすことも検討しています。

また、脊髄損傷になってから時間がたった慢性期の患者を対象にした治験を行うほか、リハビリとどう組み合わせれば効果的な治療となるか、検討していきます。



- 【研究グループ】
 向かって左から
 ○NHO村山医療センター 谷戸院長
 ○慶應義塾大学医学部 中村教授
 ○慶應義塾大学医学部 岡野教授
 ○NHO大阪医療センター 金村臨床研究センター長



もっと知りたい

高次脳機能障害に係る研修会を開催しました

令和7年3月10日（月）にて高次脳機能障害に係る研修会をWeb会議で開催しました。

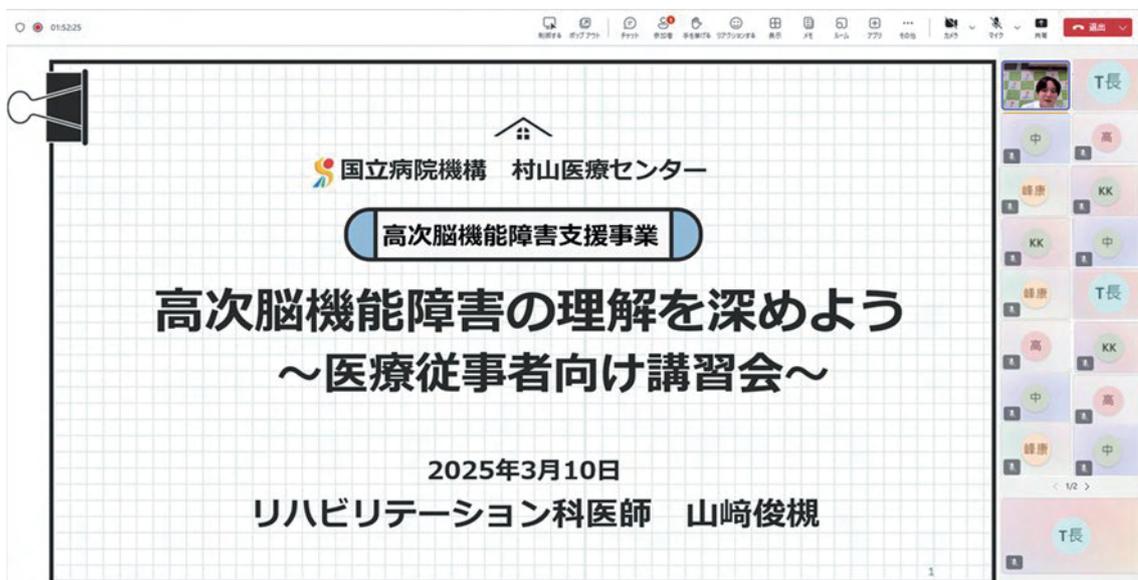
講師として当院リハビリテーション科医師の山崎俊規先生が、医学的な観点から日常生活における高次脳機能障害について、実際の具体例をあげながら分かりやすくお話ししていただきました。



また、山崎先生が実際に経験した症例についてもいくつかご紹介いただき、患者さん個人のニーズに合わせたアプローチ方法を考え社会復帰に向けて、病院内で他のメディカルスタッフと連携しながら、退院後の地域の医療と介護施設などとの連携が重要であることをお話ししていただきました。

今回の研修会は、北多摩西部医療圏の看護師、リハビリスタッフ、ケアマネジャー等の医療従事者を対象とし、多くの医療従事者の方々に参加していただきました。山崎先生のお話を真剣に聞いている姿が印象的で、有意義な研修会となりました。

高次脳機能障害の症状は患者さんによって様々ですが、医療従事者が介入し高次脳機能障害について正しく理解してサポートすることで、患者さん個人にあった社会生活を送ることができます。当院も一丸となってサポートできるよう全力で努めてまいりたいと思います。



Information

脊椎脊髄センター外来診療日 拡大のお知らせ

令和7年4月より、脊椎脊髄センター外来の診療日が拡大いたしました。
現行の月・火・水が 毎日（月・火・水・木・金）に枠が広がります。

歩行が困難だった患者様が、手術後には杖なしで歩けるようになるなど、多くの患者様のQOL（クオリティ・オブ・ライフ=生活の質）の向上に貢献してきました。

最新の知識と豊富な経験を持った日本脊椎脊髄病学会指導医及び専門医が親身に診察・治療します。どうぞお気軽にご相談ください

ご予約は、月～金（平日） 13:00～17:00

電話：042-561-1698

042-561-0965

電話受付の担当者に「脊椎脊髄センター外来の予約」とお伝えください。

RECRUIT

言語聴覚士募集

私たちは一緒に働く仲間を募集しています。

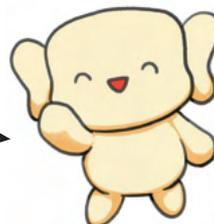
【雇用条件など】

- 雇用形態 常勤職員
- 給 与 202,800円（大卒程度）
193,500円（短大卒業程度）
※経験により加算あり
- 諸 手 当 通勤手当、住居手当、扶養手当など
- 賞 与 年2回（約4.2月分）



👉 詳細はこちらから
村山医療センター
事務部管理課給与係
☎042-561-1221

ご応募お待ち
しております！



ムラヤマ

vol.4

今号の記事：

新年度が始まりました！



新しい仲間たちが加わり、心機一転 新年度がスタートしました！

入職式や集合研修も終わり、各部署に新人スタッフが配属されています。先輩達は新人スタッフのフレッシュな姿に、日々元気もらっています！さて、村山医療センターインスタグラムも本格始動から2年目を迎え、フォロワーが600人を突破しました！少しでも多くの方に見ていただけるよう頑張っていきますので、フォロー、いいね、お待ちしております！

QRコードはこちらから！



@MURAYAMAMEDICAL

外 来 診 療 担 当 医 師

■ 一般外来

※受付時間 (初診:8時30分～11時まで)
再診:8時30分～12時まで)

令和7年4月1日現在

診療科等	月	火	水	木	金	備考		
内科/リウマチ科	片寄	岡田	片寄					
外科	大石	飯野	大石	飯野	大石			
整形外科	再診	脊椎	竹光 藤吉 古川	谷戸 ※第3週より金曜日 となります 小林 北川	橋本 鈴木 交替制医師	許斐 加藤 矢内	松川 柴田	脊髄損傷 側 弯 脊椎・脊髄 (頸椎・胸椎・腰椎)
		関節	森重		高島	吉原	笹崎 中村	股・膝関節・下肢
	肩		吉田 (第2,4,5週 13:30~)					
	一般		榮本		芝			
初診	交替制							
リハビリテーション科	堤	植村	松田	山崎	下村			
歯科	吉武 (第1・3・5週)	吉武 (第2・4週)	吉武	吉武	吉武	予約制		

■ 専門外来 (全て予約のみ)

診療科等	月	火	水	木	金	備考
脊椎脊髄センター	藤吉 (9:00~9:30)	加藤 (9:00~9:30)	藤吉・小林(隔週) (9:00~9:30)			予約制
脊椎刺激装置外来			小林 (第1・3週 午後)			予約制
内科リウマチ				片寄 (13:00~)		予約制
装具外来 (リハビリ科)	リハビリ科医師 (13:00~)					予約制
側 弯	許斐(第1週午後) 古川(15:30~)			矢内(15:00~) 許斐(16:00~)	柴田 (13:30~)	予約制
骨粗鬆症・筋老化					竹光 (第1・2・3・5週 13-15時) 矢内 (第1・3週 午前) 加藤(貴) (第2・4週 午前)	予約制

※循環器科、皮膚科、精神科については、一般外来を行っておりません。

診療について

診 療 日 月曜日～金曜日(祝日及び年末年始は除く)
診療受付時間 初診の方 午前8時30分～午前11時00分
再診の方 午前8時30分～午前12時00分

※急患は(整形外科) 随時受け付けております。

専門外来については医事窓口にてお問合せ下さい。

毎月初めに保険証の提示をお願いします。変更のあった場合はお知らせ下さい。

独立行政法人国立病院機構 **村山医療センター**
〒208-0011 東京都武蔵村山市学園2-37-1
TEL 042-561-1221(代) FAX 042-564-2210
URL : <http://www.murayama-hosp.jp/>